

令和6年度第2回鳥取県国民健康保険運営協議会議事録

- 日 時 令和7年3月24日（月） 午後3時30分～4時15分
○場 所 鳥取県立図書館 大研修室
○出席者 鳥取県国民健康保険運営協議会委員
（事務局）福祉保健部健康医療局長、医療・保険課長他3名

1 開会

事務局が被保険者代表、保険医又は保険薬剤師代表、公益代表及び被用者保険代表の委員11名のうち過半数以上の10名の出席を確認し、会議が成立した。

2 挨拶（荒金健康医療局長）

3 議事

【議事録署名委員指名】

会長が公益代表 松田委員を指名した。

（1）第3期鳥取県国民健康保険運営方針（案）に係る市町村意見照会及びパブリックコメントの実施結果について

事務局が資料1-1及び1-2により説明を行い、特に質疑応答はなかった。

（2）第3期鳥取県国民健康保険運営方針（案）について

事務局が資料2-1及び2-2により説明を行い、次のとおり質疑応答があった。

《委員》

重複服薬・多剤投与の取組として、訪問指導を実施するとありますが、訪問する際に医療機関と連絡を取って行っているのでしょうか。

薬局でも、お薬手帳やオンライン資格確認等システムのデータで確認をするが、同月に処方されている場合にはデータ反映がされていないためチェックできないため、指導に行かれる場合にそういった情報がいただけるとありがたい。

《事務局》

重複服薬・多剤投与者の訪問指導は市町村が取り組んでいますが、医療機関に連絡してから訪問しているかは承知していません。

訪問に際して、何か連携できることがないか考えてみたいと思います。

《事務局》

補足になりますが、電子処方箋の導入が進めば、リアルタイムで処方された薬の情報が見れるようになります。すぐということではありませんが、電子処方箋の導入状況も踏まえて考えてみたいと思います。

《委員》

小さな診療所の方が電子処方箋は進んでいる印象があります。大きな病院では3月から4月に導入すると聞いています。

《委員》

健診を受診したり、あまり医療にかかっていなかったりという健康管理をしている人たちの保険料が安くなる仕組みなどができないでしょうか。

《事務局》

国民皆保険という制度を採っており、県だけでなく国の問題と考えています。国に言える機会があれば伝えますが、なかなか実現は難しいと思います。

《委員》

健康管理を頑張っている方に何らかのインセンティブがあるといいと思います。

《事務局》

健康増進に寄与する部分で何かできればと思います。

《委員》

運営方針についてPDCAサイクルを回すことになっています。数値化できるものは評価しやすいと思いますが、取組を行うなど数値化しにくいものについては、最終的には医療費などで評価することになるのでしょうか。

《事務局》

医療費適正化の部分では、県の運営方針や市町村のデータヘルス計画に共通の指標を設けて、事業の実施状況や目標の達成状況について評価を行うこととしています。

このように数値化しにくい部分も、最終的には数値で評価していくことになると思います。

《会長》

ご意見をいただきましたが、今後の施策展開のためのご意見であり、運営方針の記載の変更を要するものではないと考えております。

諮問を受けました第3期鳥取県国民健康保険運営方針ですが、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。答申文については、会長に一任いただきたいと思います。

(委員：了承)

令和 年 月 日

議事録署名人